



## 2学期最後の12月 今学期を振り返りました

9月の酷暑のなか始まった2学期も最後の月を迎えるました。夏休み明けも猛暑日や真夏日が続き、休憩時間に運動場で遊べない日がたくさんありました。平成の頃は、2学期が始まっすぐに運動会練習が始まり、9月下旬に運動会を開催していたことを思うと、確実に地球温暖化は進んでいると思います。

そんな中、委員会活動では、外遊びができないこの時期に屋内でのイベントを計画してくれました。保健給食委員会の「スタンプラリー」JRC委員会の「ペットボトルフリップ」など、健康や給食に関するクイズを出して自作の塗り絵をプレゼントしたり、身近な材料を使った遊びを提供したりするなど、外に出て遊べないことを考えての活動でした。昨年度から校内研究では、学級活動を取り上げて、学級での生活をよりよく送るために子どもたち一人ひとりが自分の思いを伝えること、人の話に耳を傾けて思いを受け取り、自分の考えを深化させたり折り合いをつけたりするという活動に取り組んでいます。この話し合いが学級から学校へと派生し、自分たちでする学校運営（学校自治）へと繋がるようにとの願いをもっており、委員会活動の話し合いも活性化できればと思っています。

9月にはFBC花壇審査がありました。立入が丘小学校の合言葉の一つである「花いっぱい」の言葉のもと、4月から種まき、苗植え、施肥、水やりと約半年にも及ぶ長期間の間、用務員さんやボランティアさんの絶大なる協力を得て、栽培を続けてきました。この努力の甲斐あって、今年度も中央審査へと進み、「優良賞」を受賞することができました。その後の咲き誇った花は、フラワーフェスティバルとして全校のみんなや幼稚園・保育園の5歳児さんに花摘みを楽しんでもらうことができました。



10月は、全校挙げての大きな行事「立小パワフル運動会」がありました。全校児童の参加の仕方は素晴らしい、特に5・6年生の活躍で、最後まで集中力の切れない充実した運動会をすることができました。高学年は旗体操や組体操の演技で会場を魅了することは勿論、係活動でも運営に積極参加ができました。自分の出番でないときに児童席を離れることなく、他学年の見学・応援ができたのも、応援団の頑張りによるところが大きかったのではないかでしょうか。この運動会で低・中学年の子どもたちは高学年へのあこがれを抱いたと思います。そして目標にもなったと思います。この気持ちを後輩たちへ繋いでいける運動会を目指したいと思います。

11月には「心と心をつなぐあいさつ運動」がありました。本校には今年度「あいさつレンジャー」を児童の有志で結成しています。毎朝、登校時に前庭に立って、自分より後に登校してくる子たちにプラカードやのぼりを手に「おはようございます」と声をかけてくれています。1学期後半から始まった活動で、雨の日以外は毎日続けてくれています。このあいさつレンジャーの活動の良さは、のぼりやプラカードを後輩に勧めたり活動の様子を記録に残したりする高学年の姿があったり、率先して片づけをしてくれる中学年の児童がいたり、プラカードを掲げて自分から「おはようございます」と声掛けをする低学年の児童がいたりと、それぞれが自分の役割を見つけて動いてくれているところです。続けることの大切さを感じています。



### 「除草作業」ありがとうございました

立入町白菊会様と、岡町寿会様のご厚志により、観察の森の除草作業をしていただきました。見違えるようにすっきりときれいになりました。児童ともども大変喜んでいます。ありがとうございました。今後も地域の中の学校として、関係作りを大切にしていきたいと考えています。今後も学校の教育活動へのご協力をよろしくお願いします。

